

那覇空港の総合的な調査 (PIステップ2)の実施

~たくさんの声、ありがとうございました~

2

Special
Edition



那覇空港の現状（平成16年撮影）

平成15年度より国と県が連携し、将来の那覇空港を検討するため、「那覇空港の総合的な調査」を行っています。

「那覇空港の総合的な調査」ではPI（パブリック・インボルブメント）という手法を用い、多く

はステップ2として、那覇空港の将来の航空需要予測を行うとともに現状の空港施設でその需要に対応できるかを検討する空港能力の見極めを実施しました。これに対し、県民等の皆様から多数のご意見を頂きました。



シンポジウム

ステップ2に関する意見募集は、平成18年8月1日～10月31日の3ヶ月に亘り行われました。調査報告書(概要版含む)は、郵送やモノレール駅等に設置するとともに、説明会、シンポジウム及びパネル展等の実施を通じて、合計27183人の方へ配布することができました。

なお、期間中には新聞やテレビ広告、広報誌及びホームページによるステップ2の広報・周知活動も併せて行いました。

その結果、アンケートについてはステップ1の998人を上回る、1337人から回答を得ることができました。



エアポートビジョンによるCM（那覇空港）



説明会



オープンハウス（那覇空港）

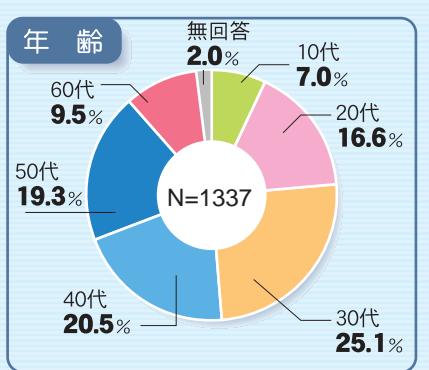
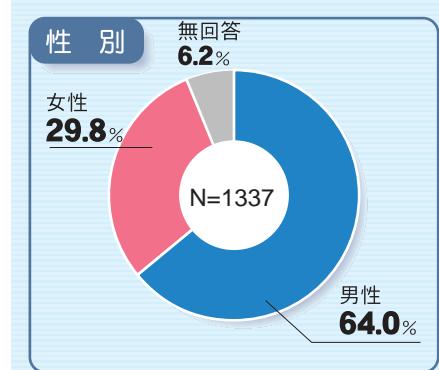
2. 活動内容

1. PIステップ2
の実施について

の方々からご意見を頂きながら調査を進めています。那覇空港の総合的な調査のPIは3つのステップから成り、平成18年度

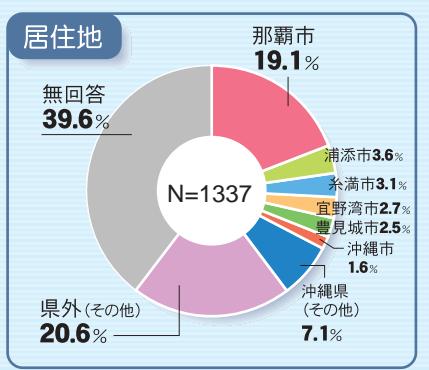
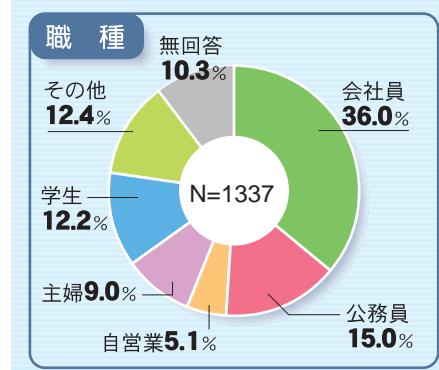
は、平成18年8月1日～10月31日の3ヶ月に亘り行われました。

調査報告書(概要版含む)は、郵送やモノレール駅等に設置す



アンケート回答者の構成
回答者の性別では、男性が約60%、女性が約30%となっています。職業では、会社員や公務員が多くなっています。年齢別では30歳代が最も多く、40歳代と50歳代でも約20%と関心が高い

3. アンケート結果について



いことが伺えます。

ステップ1と比べ、女性が約6ポイント、学生の割合も約7ポイント増えたことから、ステップ1よりも幅広い層からの回答をいただけだと考えております。

調査報告書の理解度

調査報告書の各要点について理解度に関するアンケートでは、

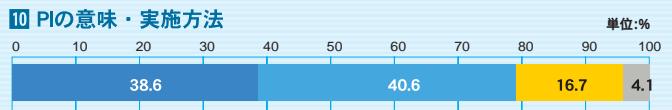
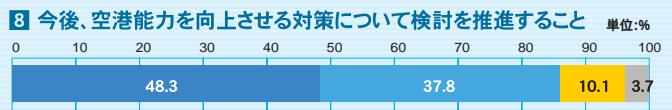
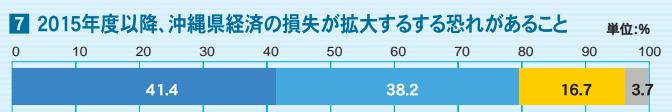
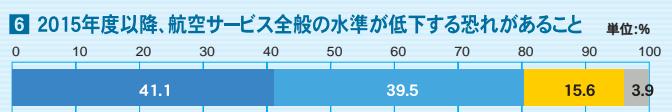
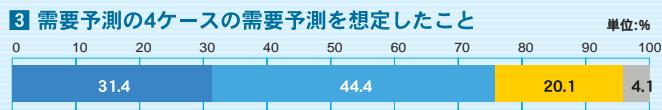
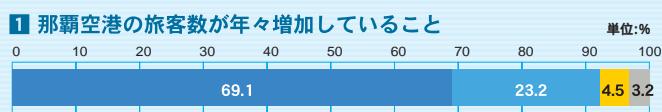
パブリック・インボルブメント(PI)とは?

一般的には、政策決定や公共事業の計画策定において、国民や地域住民の方が意見を表明できるような場を設け、寄せられた意見を計画に反映するものです。

【 公衆(Public)を 巻き込む(Involve) 】

約75%以上の方が「理解できた」又は「ある程度理解できた」と回答しています。

調査報告書の理解度



寄せられた自由意見
アンケート回答者 1,337 人のうち、844の方があ自由回答欄にご意見をお寄せくださいました。それと別に説明会で138人からご意見があり、合計982人からご意見を頂くことができました。

お一人で複数のご意見を書かれている方もおり、これらご意見を分類した結果、意見の総数は2404件となりました。ステップ1の意見総数697件はだったのに対し、ステップ2では大幅な増加となりました。ステップ2の内容に関する意見

見として「将来の需要予測に関する意見」が20%を占めました。霸空港の現状・課題等に関する意見」や「滑走路増設拡張整備に関する意見」も各々20%程度ずつありました。

| 意見の内容 | | 意見数 |
|-------------------------|-------------------------|----------------|
| ステップ2に関するご意見 | PIの取り組みに関する意見 | 259 (10.8%) |
| | 1. 調査報告書に関する意見 | 166 (6.9%) |
| | 2. PIの進め方に関する意見 | 75 (3.1%) |
| | 3. PIに関する意見 | 18 (0.7%) |
| | 将来の航空需要予測に関する意見 | 497 (20.7%) |
| | 1. 需要予測結果に肯定的な意見 | 260 (10.8%) |
| | 2. 需要予測結果に否定的な意見 | 45 (1.9%) |
| | 3. 需要予測結果に慎重な意見 | 110 (4.6%) |
| | 4. 需要予測の前提条件や予想手法に関する意見 | 82 (3.4%) |
| | 空港能力の見極めに関する意見 | 304 (12.6%) |
| ステップ2で寄せられたステップ3に関するご意見 | 1. 空港能力の見極め結果に肯定的な意見 | 149 (6.2%) |
| | 2. 空港能力の見極め結果に否定的な意見 | 132 (5.5%) |
| | 3. 有効活用方策に関する意見 | 23 (1.0%) |
| ステップ2で寄せられたステップ3に関するご意見 | 滑走路増設等拡張整備に関する意見 | 465 (19.3%) |
| | 1. 将来像に関する意見 | 56 (2.3%) |
| | 2. 滑走路増設等拡張整備に関する意見 | 409 (17.0%) |
| ステップ2で寄せられたステップ1に関するご意見 | 那覇空港の現状・課題等に関する意見 | 569 (23.7%) |
| | 1. 混雑や遅延等に関する意見 | 54 (2.2%) |
| | 2. 旅客ターミナルビルに関する意見 | 246 (10.2%) |
| | 3. 貨物ターミナル地区に関する意見 | 24 (1.0%) |
| | 4. 自衛隊との共同利用時に関する意見 | 70 (2.9%) |
| | 5. 環境問題に関する意見 | 7 (0.3%) |
| | 6. その他利便性向上に関する意見 | 168 (7.0%) |
| | 航空路線網に関する意見 | 56 (2.3%) |
| | 1. 航空路線網に関する意見 | 56 (2.3%) |
| | その他の意見 | 254 (10.6%) |
| その他 | 1. その他の意見 | 254 (10.6%) |
| | 合 計 | 2,404 (100.0%) |



ご意見に対する考え方
頂いた2404件のご意見
を項目別に分類し、ご意見に対

する考え方をまとめました。
その概要は左の表のとおりで

| 分類 | 主なご意見 | ご意見に対する考え方 |
|-------------------|--|---|
| PIの取組みに関する意見 | ・報告書の内容について ・PIの情報提供方法など ・PIに関すること | ・分かりやすい報告書になるよう工夫し、情報不足が無い様に努めます。 ・これまで以上に効率的なPIが実施できるよう検討します。 ・透明性を確保し、十分な情報提供、意見収集に努めます。 |
| 将来の航空需要予測に関する意見 | ・需要予測に肯定的 ・需要予測に否定的 ・需要予測に慎重など | ・需要予測は公的機関が公表する将来の社会経済指標を使用し算出してあります。今後、需要予測結果と実際の動向に差が生じないかなどに注目する必要があります。 |
| 空港能力の見極めに関する意見 | ・見極めに肯定的 ・見極めに否定的 ・有効活用方策 | ・ステップ3で空港能力の抜本的な向上方策について検討します。 ・8月ピーク時での見極めは、県経済にとって重要と考えます。 ・有効活用方策である平行誘導路の二重化は長期的視点で検討します。 |
| 滑走路増設等拡張整備に関する意見 | ・将来像について ・滑走路拡張について | ・沖縄振興開発計画で描かれた那覇空港の実現に向け検討します。 ・滑走路増設について環境や経済性等、多面的な検討を行いステップ3で提示します。 |
| 那覇空港の現状・課題等に関する意見 | ・混雑や遅延について ・ターミナルについて ・自衛隊共同利用について | ・課題解決に向け、抜本的な空港能力向上方策を検討します。 ・スポットの増設、国際線ビルの整備等に向け取り組んでいきます。 ・現状どおり、共用利用状況を踏まえ検討します。 |
| 航空路線網に関する意見 | ・航空路の拡充、増便 | ・引き続き、国内、国際航空路線網の拡充等に努力します。 |

アンケート結果や意見に対する対応方針などの内容について
第三者機関である「那覇空港調査PI評価委員会」で審議した結果、概ね妥当との評価を得ました。これをもって、那覇空港の需要予測や空港能力の見極め等について情報の共有化を図るという目的は達成されたとし、ステップ2を終了することとなりました。

また、同委員会で、評価とは別に様々な助言を頂きました。主な内容は以下のとおりでした。

周知広報の手法については、PIの目的や対象者を考慮し、メディアの特性を検討する必要がある。

調査報告書の概要版については、情報の質を落とすことなく、内容を簡略化する方法を検討する必要がある。

これら助言をステップ3で十分反映できるよう、今後、検討をお、頂いたご意見、アンケート結果及びご意見への対応の詳細については、ホームページをご覧ください。

平成19年度に実施するステップ3では、複数の滑走路増設案等を皆様にご提示する予定です。那覇空港のPIに多くの皆様が興味を持っていただき、ご協力を得ながら幅広いご意見がいただけるよう、これまで以上に積極的なPI活動を展開していく予定です。

5. PIステップ3に向け



ホームページ

<http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nahakuukou>